

まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.73 令和3年2月8日発行

奥会津地域 土木施設

観光資源化調査モニターツアー2

奥会津地域は、道路整備、河川改修やJR只見線復旧等の大規模な整備など、電源開発に次ぐ規模の事業が展開されております。また、発電ダム等の歴史的な土木構造物も多い地域です。

このたび、人口減少や過疎化が進行する奥会津地域の活性化対策として、JR只見線全線再開通と連携して、土木施設を観光資源として活用する調査モニターツアーの2回目、3回目を実施しました。（※1回目は令和2年11月7～8日に1泊2日で実施しました。詳細はまちづくり瓦版Vol.72を参照）

【実施日】

2回目：令和2年11月14日（土）

3回目：令和2年11月15日（日）

【場 所】

柳津町、三島町、金山町内地域

【内 容】

通常では立ち入ることのできないダム施設内部の現場体験やJR只見線沿線のビューポイント等の見学を通し、観光資源としての特性や移動行程等の確認を行いました。

モニターツアーでの施設見学や体験、日程、費用等についてアンケート結果をもとに分析を行い、旅行会社等での新規の商品造成に役立ててもらうものです。

【参加者】

県内及び隣接県から参加（40代～70代）

2回目：10名

3回目：10名

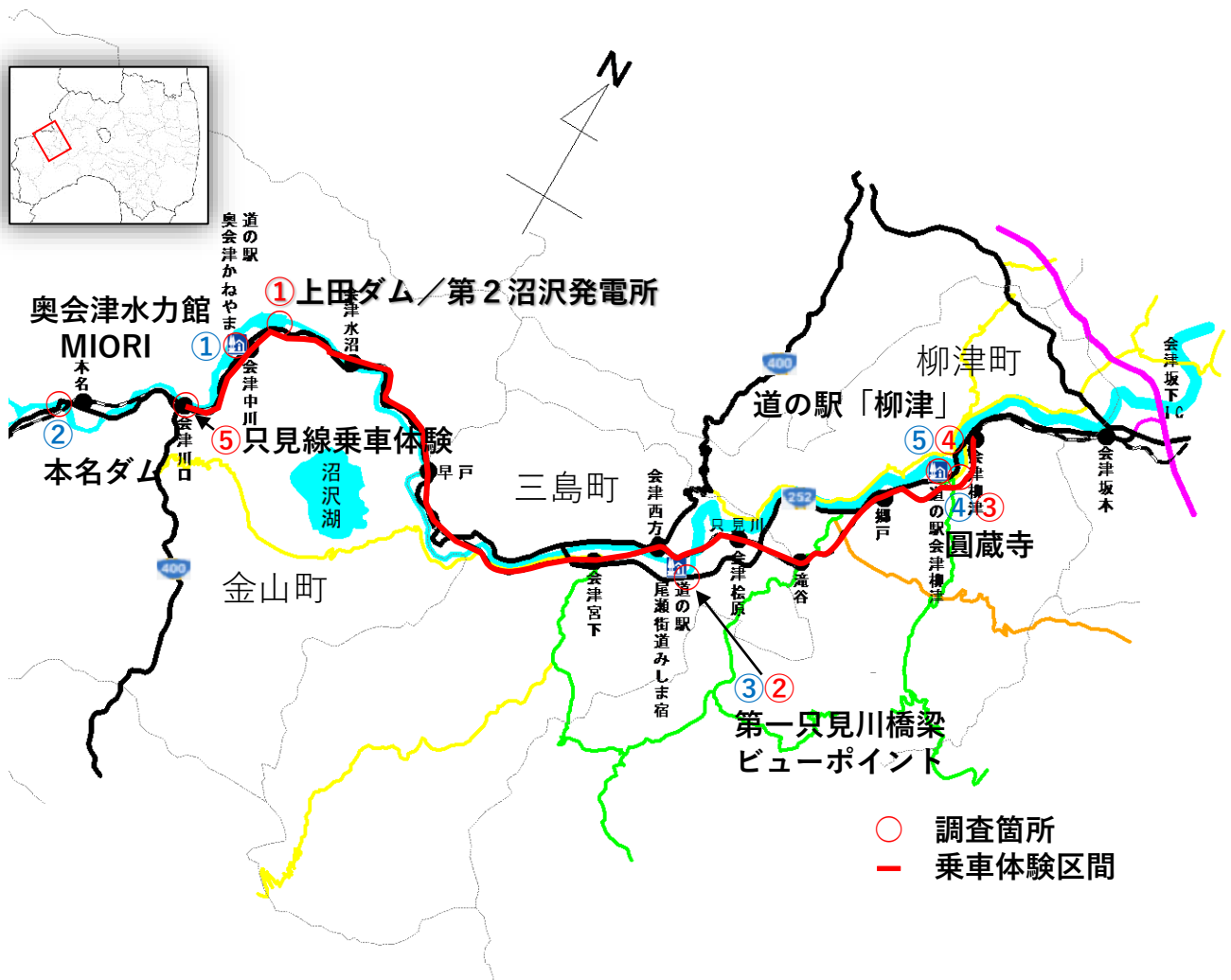
【調査箇所】

2回目：金山町名所めぐりとインフラ観光ツアー

- ①奥会津水力館「みお里 MIORI」（金山町）
- ②本名ダム（金山町）
- ③JR只見線第一只見川橋梁ビューポイント（三島町）
- ④圓蔵寺（柳津町）
- ⑤道の駅「柳津」・斎藤清美術館（柳津町）

3回目：紅葉の圓蔵寺とインフラ観光ツアー

- ①上田ダム／第2沼沢発電所（金山町）
- ②JR只見線第一只見川橋梁ビューポイント（三島町）
- ③圓蔵寺（柳津町）
- ④道の駅「柳津」（柳津町）
- ⑤JR只見線乗車体験（会津川口駅～会津柳津駅）



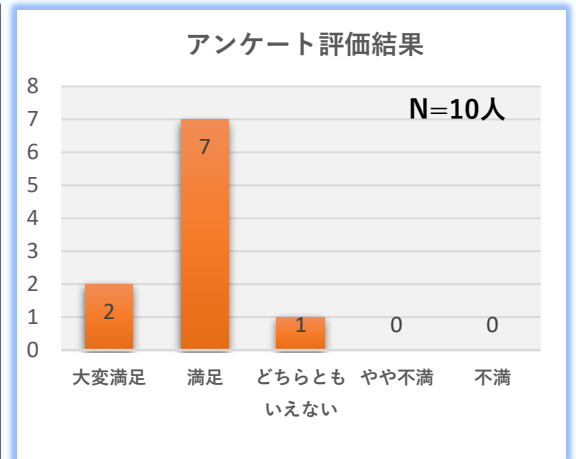
2回目：11月14日（土）

①奥会津水力館「みお里 MIORI」（金山町）

アートや映像など多彩な展示を通じて水力発電の仕組みや只見川水系における電源開発の歴史、水力発電をはじめとする再生可能エネルギーの活用に向けた取り組み、そして奥会津地域が持っているさまざまな魅力を発信します。そして観光客の増加など地域の活性化に少しでも貢献することで奥会津地域の皆さまに愛され、誇られる施設を見学しました。

△アンケート結果△

- ・奥会津の魅力、水力発電の仕組み等わかりやすい。
- ・水カスクエアは、子供達の学習に良いと思う。
- ・ギャラリーの絵がとても素敵で癒やされた。館内からの景色と素敵な絵がベストマッチ。
- ・発電所の数の多さにびっくり。いろいろ勉強になった。



②本名ダム（金山町）

本名ダムは只見川の中流域に位置し、昭和29年に建設されたもので、ダム長さ200m高さ51.5mの重力式越流型コンクリートダムで、4門の洪水吐けゲートを有しています。



白洲次郎の石碑



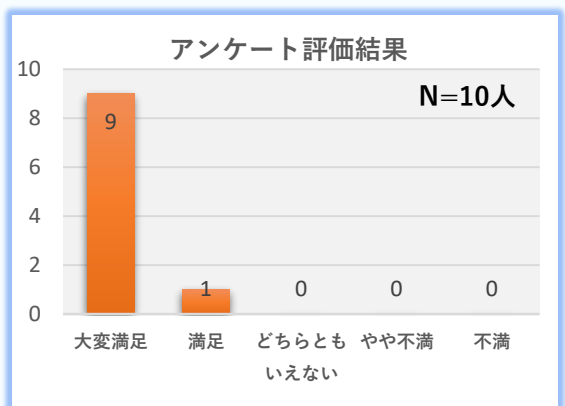
▲ダムの説明に加え、電源開発の歴史についても説明を受けました。



▲水門建屋では機械の仕組みを学びました。

△アンケート結果△

- ・ダムの建屋までの階段昇降はスリル満点。
- ・親切な説明で、楽しく見学できた。
- ・只見線が再開の際は、このダムからの景色が魅力的な素材になると思う。



③ JR只見線第一只見川橋梁ビューポイント（三島町）

道の駅尾瀬街道みしま宿の近くにあるビューポイントから、JR只見線第一只見川橋梁を走る列車を撮影しました。



▲タイミングが合えば、橋梁を渡る列車を見ることができます。

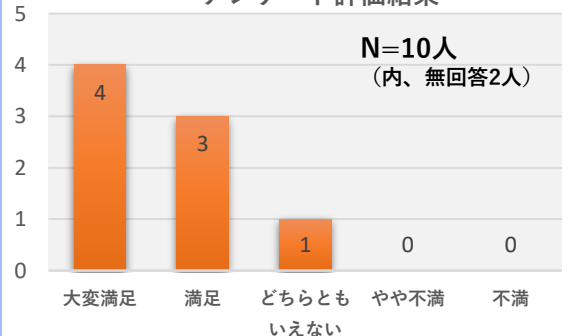


▲列車通過時刻表があるので、通過の時刻に合わせて撮影することができます。

📄 アンケート結果 📄

- ・春夏秋冬いつ来てもいいスポットだと思う。
- ・ビュースポットが4箇所あって、自分のペースで選べるのが良かった。
- ・列車が徐行してくれたので写真がうまく撮れた。
- ・いつ見ても素敵。

アンケート評価結果



④圓蔵寺（柳津町）

圓蔵寺は大同2年（807）に徳一大師によって開創されたと伝えられ、御本尊の福満虚空蔵尊は弘法大師の作と伝えられます。日本三大虚空蔵尊のひとつ、丑寅年生まれのお守り本尊として知られており、県十大祭りのひとつ七日堂裸まいりは、1年の幸福と無病息災を祈る奇祭として知られています。

当日は天候も良く多くの参拝客で賑わっていました。

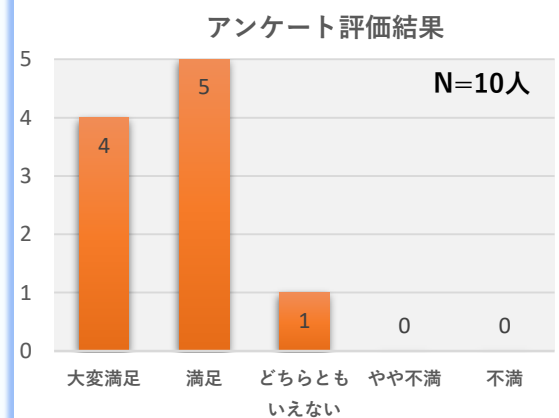


▲寺内の紅葉もとてもきれいでした。

▲触ると御利益がある「撫で牛」

📄 アンケート結果 📄

- ・圓造寺から見る赤の鉄橋が良かった。
- ・紅葉がまだ残っている季節に来られたのが良かった。
- ・紅葉がとても綺麗で古いお寺とすごくマッチしていた。
- ・他県民は知らない人が多いと思う。もっと広くPRすれば集客が望める。
- ・心が清らかになった。



⑤道の駅「柳津」・斎藤清美術館（柳津町）

休憩と買い物を兼ね、道の駅に立ち寄りしました。隣接する柳津町立斎藤清美術館では、会津が生んだ名版画家・斎藤清画伯の作品を観覧しました。

📄 アンケート結果 📄

<道の駅「柳津」>

- ・地元産の野菜があり、良かった。
- ・物足りなさを感じた。

<斎藤清美術館>

- ・名前は知っていてもなかなか来ることがなかったので良かった。
- ・いろいろな作品を見ることができ、新しい発見も垣間見られた。

11月15日(日)

①上田ダム／第2沼沢発電所(金山町)

上田ダムは本名ダムの下流に位置し、昭和29年に建設されたもので、ダム長さ283.7m高さ34mの重力式越流型コンクリートダムです。

第2沼沢発電所は昭和57年に運転を開始した最大出力46万kwの発電所です。



▲本名ダムと似た構造だが、上田ダムは水門が多いのが特徴。

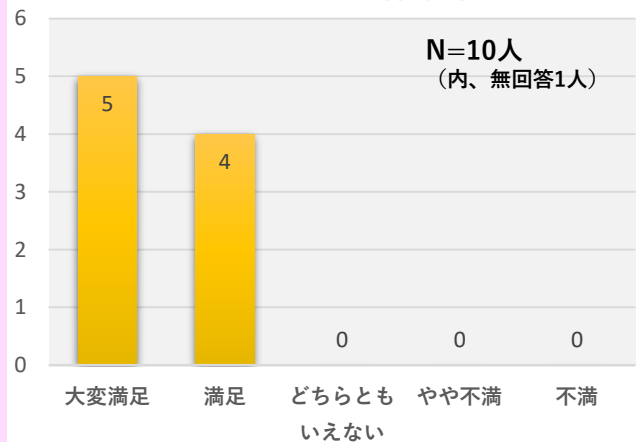


▲第2沼沢発電所内部で迫力ある水車を見学しました。

📄 アンケート結果 📄

- ・上田ダムの一番高い所まで上がって少し怖かったが、良かった。
- ・第2沼沢発電所は地下の要塞の様だった。
- ・これからの社会で自然エネルギーを使った電力の大切さを改めて感じた。
- ・放水の時期にまた参加したい。
- ・ダムや発電について知識がなかったが興味深かった。

アンケート評価結果



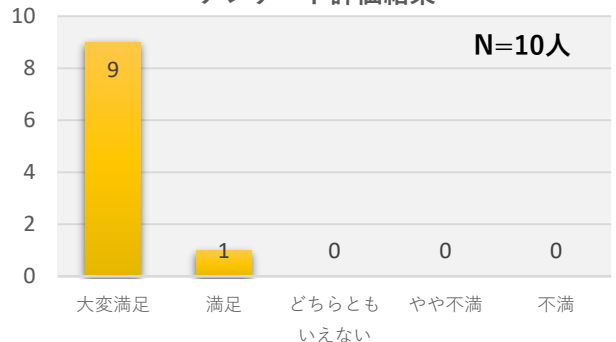
②JR只見線第一只見川橋梁ビューポイント(三島町)

2回目と同様、JR只見線第一只見川橋梁を走る列車を撮影しました。

📄 アンケート結果 📄

- ・列車の時間ぴったりなのがツアーならではのとても良かった。
- ・天気も良く、紅葉真っ盛りの周りの山とマッチして大満足だった。
- ・橋の上でのスロー運転のサービスのおかげで良い写真が撮れた。
- ・想像以上のビュースポットだった。

アンケート評価結果

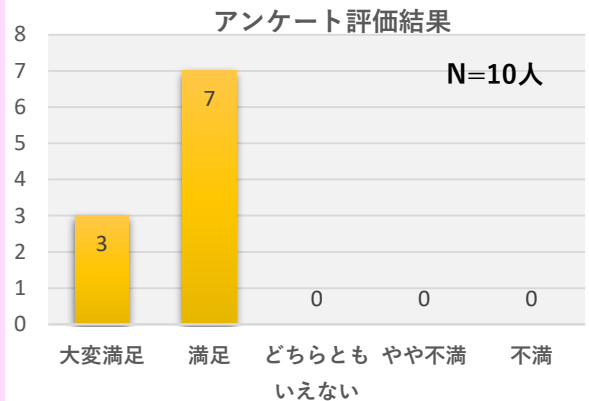


③圓蔵寺（柳津町）

2回目と同様、圓蔵寺を参拝しました。

△アンケート結果△

- ・どこへ行っても只見川が見える。絶景。
- ・お堂の上から見る赤い橋と川が綺麗だった。
- ・新たな気持ちになった。元気をもらって頑張れる気がした。
- ・日本三所の秘仏の柳津虚空蔵尊で参拝できて良かった。



④道の駅「柳津」（柳津町）

休憩と買い物を兼ね、道の駅に立ち寄りました。

△アンケート結果△

- ・地元の野菜があるのは良いが、もう少し販売意欲をそそるような工夫があれば良い。
- ・あわまんじゅうの食べ比べセットが買えた。

⑤只見線乗車体験（会津川口駅～会津柳津駅）

最後はいよいよ只見線に乗車！車内からは紅葉した山々や雄大な只見川の景色を楽しみながら、只見線第一只見川橋のビューポイントなどを車内から眺めながら楽しい時間を過ごしました。



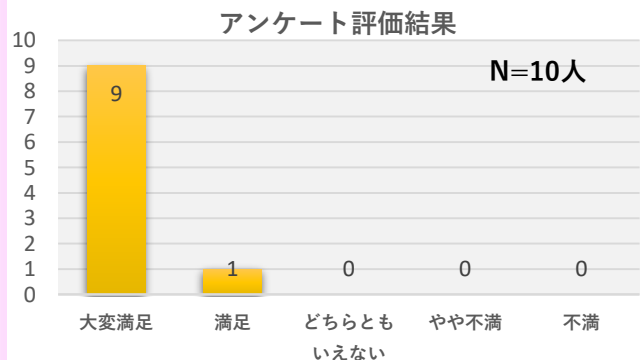
▲会津川口駅での折り返し運転中の只見線



▲付近の只見川（只見線の車窓から撮影）

△アンケート結果△

- ・車窓からの眺めがとても素晴らしかった。
- ・車内販売が珍しく、景色などの説明もしてくれて良かった。
- ・絶句するような景色に大々満足。
- ・各シーズンで只見線に乗車したい。



✎ 編集後記 ✎

今回の調査では普段入ることのできないダム内部や土木施設のビューポイントを見学しました。

また、アンケート結果から、インフラツアラーでは魅力的な土木施設だけでなく、分かりやすく丁寧な説明が重要であることが分かりました。

今回の調査全体を通して多くの方が満足と回答しており、不満と回答した方はありませんでした。

特に3回目に実施した只見線の乗車では、全ての参加者が満足との回答をしており、只見線が観光資源としてとても魅力があることも確認することができました。

これらを基に、奥会津地域土木施設の観光資源化に取り組んでまいります。

土木部メールマガジン登録随時受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、下記により登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>) からご覧いただけます。

メールマガジン(無料)の配信をご希望される方は



【土木部メルマガ希望または、解除】
をお書きのうえ下記アドレスまで
メール送信して下さい。

doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp
土木企画課(システム担当) 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>